

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> リンパ腫に対する WHO2016 年新分類におけるアウトカム研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科（研究責任者）高橋宏通</p>
<p><研究期間> 承認日 ～ 西暦 2020 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> リンパ腫はB細胞性リンパ腫、T細胞性リンパ腫、ホジキンリンパ腫に主に分類され、その分類ごとに治療戦略があり、それぞれ個別に治療することにより予後が改善していることが知られています。しかしながら、治療の進歩とともに解決されるべき課題が残されています。 リンパ腫においては、以前より WHO という世界保健機構で分類が公開されており、これまでは WHO2008 年の分類にて、診断、治療を行ってきました。しかし、診断法、治療法は日々進化しており、リンパ腫において新たな分類が 2016 年度版として WHO から発表されました。そのため、これからは新分類での診断となりますが、現段階で新分類での当院での治療成績は少数例であるため評価できておらず、これからの治療法を決定する意味でも検討すべき重要事項となっています。 この研究において我々は、リンパ腫に対する新分類で過去の症例を再検討することで、当院での新分類での治療の安全性と有効性を研究し、今後のより良い治療戦略へと応用することが目的です。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 本研究は日本大学医学部附属板橋病院血液膠原病内科において診療を受けたリンパ腫患者の臨床データを用いて行う研究です。</p>
<p><対象となる患者さん> 2000 年 1 月から 2018 年 3 月 31 日までの間に日本大学医学部附属板橋病院でリンパ腫とされ、通院または入院し治療を行った患者</p>
<p><研究の方法> 該当する症例の診療録において、リンパ腫の疾患特性（血液・尿検査結果、画像検査および骨髄腫細胞の細胞遺伝学的・免疫学的プロファイル）と臨床像の関連性、および予後との相関関係を調査します。個人情報は厳密に管理され、個人が同定され得るデータは施設から出ることはありません。</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

血液膠原病内科

氏名:高橋 宏通

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2402 (PHS)8033

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)